

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
1	213	内用薬	サムスカ錠7.5mg	7.5mg1錠	1,660.30	大塚製薬	トルバプタン	ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留	通常、成人にはトルバプタンとして15mgを1日1回経口投与する。	既存の15mg製剤に新たな規格(7.5mg)を加えるもの(再審査期間中の規格追加)
2	214	内用薬	イルベタン錠200mg	200mg1錠	195.80	塩野義製薬	イルベサルタン	高血圧症	通常、成人にはイルベサルタンとして50~100mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最大投与量は200mgまでとする。	既存の100mg製剤に新たな規格(200mg)を加えるもの(再審査期間中の規格追加)
			アバプロ錠200mg	200mg1錠	195.80	大日本住友製薬				
3	214	内用薬	ミカムロ配合錠BP	1錠	200.80	日本ベーリンガーインゲルハイム	テルミサルタン/アムロジピンベンザル酸塩	高血圧症	成人には1日1回1錠(テルミサルタン/アムロジピンとして40mg/5mg又は80mg/5mg)を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。	既存の低用量(テルミサルタン40mg/アムロジピン5mg)製剤に新たな規格(テルミサルタン80mg/アムロジピン5mg)を加えるもの(再審査期間中の規格追加)
4	396	内用薬	メトホルン錠500mg	500mg1錠	18.50	大日本住友製薬	メトホルミン塩酸塩	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 (1) 食事療法・運動療法のみ (2) 食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用	通常、成人にはメトホルミン塩酸塩として1日500mgより開始し、1日2~3回に分けて食直前又は食後に経口投与する。維持量は効果を観察しながら決め、通常1日750~1,500mgとする。なお、患者の状態により適宜増減するが、1日最高投与量は2,250mgまでとする。	既存の250mg製剤に新たな規格(500mg)を加えるもの(再審査期間中の規格追加)
5	321	内用薬	デノスタチュアブル配合錠	1錠	20.90	日東薬品	沈降炭酸カルシウム/コレカルシフェロール/炭酸マグネシウム	RANKL阻害剤(デノスマブ(遺伝子組換え)等)投与に伴う低カルシウム血症の治療及び予防	通常、1日1回2錠を経口投与する。なお、患者の状態又は臨床検査値に応じて適宜増減する。	類似処方医薬品として承認されたもの(類似処方医薬品配合剤)
6	799	内用薬	モビブレップ配合内用剤	1袋	2,372.80	味の素製薬	塩化ナトリウム/塩化カリウム/無水硫酸ナトリウム/マコロール4000/アスコルビン酸/アスコルビン酸ナトリウム	大腸内視鏡検査、大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除	本剤1袋を水に溶解して約2Lの溶解液とする。 通常、成人には溶解液を1時間あたり約1Lの速度で経口投与する。溶解液を約1L投与した後、水又はお茶を約0.5L飲用する。ただし、排泄液が透明になった時点で投与を終了し、投与した溶解液量の半量の水又はお茶を飲用する。排泄液が透明になっていない場合には、残りの溶解液を排泄液が透明になるまで投与し、その後、追加投与した溶解液量の半量の水又はお茶を飲用する。なお、本剤1袋(溶解液として2L)を超える投与は行わない。 大腸内視鏡検査前処置 検査当日の朝食は絶食(水分摂取は可)とし、検査開始予定時間の約3時間以上前から投与を開始する。 大腸手術前処置 手術前日の夕食後は絶食(水分摂取は可)とし、朝食後約3時間以上経過した後、投与を開始する。	既存製剤の類似処方医薬品配合剤として、高張の腸管洗浄製剤を加えるもの(類似処方医薬品配合剤)
7	339	注射薬	フィルグラスチムBS注75μgシリンジ「モチダ」	75μg0.3mL1筒	6,882	持田製薬	フィルグラスチム(遺伝子組換え)	造血幹細胞の末梢血中への動員 造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進 がん化学療法による好中球減少症 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の治療に支障を来す好中球減少症 骨髄異形成症候群に伴う好中球減少症 再生不良性貧血に伴う好中球減少症 先天性・特異性好中球減少症	※詳細は添付文書等を参照のこと。	既存のフィルグラスチム(遺伝子組換え)製剤(グラシ注注射液)のバイオ後続品であり、プレフィルドシリンジ化したキット製品(バイオ後続品)
			フィルグラスチムBS注150μgシリンジ「モチダ」	150μg0.6mL1筒	10,871					
			フィルグラスチムBS注300μgシリンジ「モチダ」	300μg0.7mL1筒	17,179					
			フィルグラスチムBS注75μgシリンジ「F」	75μg0.3mL1筒	6,882	富士製薬				
			フィルグラスチムBS注150μgシリンジ「F」	150μg0.6mL1筒	10,871					
			フィルグラスチムBS注300μgシリンジ「F」	300μg0.7mL1筒	17,179					
8	339	注射薬	フィルグラスチムBS注75μgシリンジ「NK」	75μg0.3mL1筒	6,882	日本化薬	フィルグラスチム(遺伝子組換え)	造血幹細胞の末梢血中への動員 造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進 がん化学療法による好中球減少症 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の治療に支障を来す好中球減少症 骨髄異形成症候群に伴う好中球減少症 再生不良性貧血に伴う好中球減少症 先天性・特異性好中球減少症	※詳細は添付文書等を参照のこと。	既存のフィルグラスチム(遺伝子組換え)製剤(グラシ注注射液)のバイオ後続品であり、プレフィルドシリンジ化したキット製品(バイオ後続品)
			フィルグラスチムBS注150μgシリンジ「NK」	150μg0.6mL1筒	10,871					
			フィルグラスチムBS注300μgシリンジ「NK」	300μg0.7mL1筒	17,179					
			フィルグラスチムBS注75μgシリンジ「テバ」	75μg0.3mL1筒	6,882	テバ製薬				
			フィルグラスチムBS注150μgシリンジ「テバ」	150μg0.6mL1筒	10,871					
			フィルグラスチムBS注300μgシリンジ「テバ」	300μg0.7mL1筒	17,179					
9	399	注射薬	エンブレル皮下注50mgベント	50mg1mL1キット	30,384	ファイザー	エタネルセプト(遺伝子組換え)	既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)	本剤を、通常、成人にはエタネルセプト(遺伝子組換え)として10~25mgを1日1回、週に2回、又は25~50mgを1日1回、週に1回、皮下注射する。	既存のエンブレル皮下注50mgシリンジ製剤をベント(遺伝子組換え)としたもの(再審査期間中の規格追加)

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
10	613	注射薬	ユナシン-S静注用3g	(3g)1瓶	1,251	ファイザー	スルバクタムナトリウム/アンピシリンナトリウム	<p>&lt;適応症種&gt; 本剤に感性的ブドウ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブランハメラ)、カタラリス、大腸菌、フロテウス属、インフルエンザ菌</p> <p>&lt;適応症&gt; 肺炎、肺膿瘍、膀胱炎、腹膜炎</p>	<p>[肺炎、肺膿瘍、腹膜炎の場合] 通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日8g(力価)を2回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。なお、重症感染症の場合は必要に応じて適宜増量することができるが、1回3g(力価)1日4回(1日量として12g(力価))を上限とする。</p> <p>[膀胱炎の場合] 通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日3g(力価)を2回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。</p> <p>通常小児にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、1日60～150mg(力価)/kgを3～4回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に投与する。なお、点滴による静脈内投与に際しては、補液に溶解して用いる。</p>	既存の1.5g製剤に新たな規格(3g)を加えるもの(再審査期間中の規格追加)
11	634	注射薬	献血ヴェノグロブリンH5%静注10g/200mL	10g200mL1瓶	91,240	日本血液製剤機構	人免疫グロブリンG	<p>1. 低並びに無ガンマグロブリン血症</p> <p>2. 重症感染症における抗生物質との併用</p> <p>3. 特発性血小板減少性紫斑病(他剤が無効で、著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合)</p> <p>4. 川崎病の急性期(重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合)</p> <p>5. 多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)</p> <p>6. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多発性運動ニューロパシーを含む)の筋力低下の改善</p> <p>7. 全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限り)</p>	※詳細は添付文書等を参照のこと。	既存の0.5g/10mL製剤等に新たな規格(10g/200mL)を加えるもの(再審査期間中の規格追加)
12	722	注射薬	イヌリード注	4g40mL1瓶	8,586	富士薬品	イヌリン	糸球体過剰の測定による腎機能検査	本剤1バイアルを加熱溶解し、日局生理食塩液360mLに希釈する。初回量として、150mLを1時間に300mLの速度で30分間、次いで維持量として150mLを1時間に100mLの速度で90分間点滴静注する。	既存製剤に溶解液の添付がない規格を追加するもの(再審査期間中の規格追加)
13	131	外用薬	タフロスミニ点眼液0.0015%	0.0015%0.3mL1個	96.90	参天製薬	タフルプロスト	緑内障、高眼圧症	1回1滴、1日1回点眼する。	既存の2.5mL製剤に防腐剤を含有しない小規模製剤を追加するもの(再審査期間中の規格追加)
14	265	外用薬	ルリコン軟膏1%	1%1g	53.40	ポーラファルマル	ルリコナゾール	下記の皮膚真菌症の治療 白癬:足白癬、体部白癬、股部白癬 カンジダ症:指間びらん症、間擦疹 癬風	1日1回患部に塗布する。	既存のクリーム製剤に軟膏製剤を加えるもの(再審査期間中の剤型追加)
15	239	外用薬	ベンタサ坐剤1g	1g1個	347.80	杏林製薬	メサラジン	潰瘍性大腸炎(重症を除く)	通常、成人には1日1個(メサラジンとして1g)を、直腸内に挿入する。	既存の製剤(注腸剤及び錠剤)に坐剤を加えるもの(新剤型医薬品)

・(参考)

報告品目とは、薬事・食品衛生審議会に正式諮問しないで、調査会に相談して処理する医薬品。既承認品目と同じ薬理作用に基づく効能効果の追加申請等の場合に行われる。例えば、剤型追加、規格追加、製品のキット化など。

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。